

厚生労働省保護帽検定合格品

トヨセフティ 保護帽

取扱説明書

- この度は当社製保護帽をお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
保護帽を使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用してください。
【この説明書は読んだあと大切に保管してください。】

- 疑問や不明な点がございましたら下記の当社消費者相談室までご連絡ください。
■この説明書を紛失した場合も同室までご請求ください。

【発売元】 **株式会社 トヨセフティ**

兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
URL: <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 **TEL.0794-83-0155**

日本ヘルメット工業会会員

【製造元】 **東洋物産工業株式会社**

はじめに

- この保護帽は法律で定める危険な作業場所や危険が予測される作業で頭部を保護する為に使用するものです。
■保護帽とは厚生労働省の規格「保護帽の規格」に適合するものでなければなりません。
■「保護帽の規格」に適合する型式検定合格品には(労・検)のラベルが貼付されています。
■厚生労働省の規格「保護帽の規格」は頭部の安全を確保する為の最低限度を定めたものであって(労・検)のラベルは絶対的に安全性を保障するものではありません。使用にあたっては最大限の注意を払い、常に安全な作業に努めてください。

警告、注意の意味(安全上大切なお知らせ)

- ⚠ **警告** この取扱説明書の内容どおり正しく守らないと、生命又は頭部に重大な傷害を及ぼすことを意味しています。
⚠ **注意** この取扱説明書の内容どおり正しく守らないと、頭部に傷害を及ぼすことを意味しています。

⚠ 警告事項

保護帽以外の用途(ミニバイク、野球用等のヘルメット)には絶対使用しないでください。

【保護帽の名称】

帽体……着用者の頭を覆う部品。(つば及びびしを含む)
装着体……ハンモック、ヘッドバンド等により構成され、帽体に衝撃が加わった際に着用者の頭部に加わる衝撃を緩和するために帽体の内部に取付けられる部品。
(帽体内側止めと鉤止めの2種類あり)
アゴヒモ…保護帽が頭部より脱落しない為の絶対必要な部分です。
衝撃吸収…衝撃を吸収する為の部分です。
ライナー (断熱や保温の為のものではありません。)

- 当社の検定合格品には下の4種類のタイプがあります。
■お買い上げ頂きました保護帽の種類と作業内容を確かめてから使用してください。

使用区分(種類)		構造
飛来・落下物用 電気用 (使用耐電圧7000V以下)	A E タイプ 兼用型タイプ	○帽体 ○装着体 ○アゴヒモ
機能	★物体の飛来又は落下による頭部への危険を防止又は軽減。 ★頭部感電による危険を防止又は軽減する為のもの。	

飛来・落下物用 電気用 (使用耐電圧7000V以下) 墜落時保護用	A B E タイプ 兼用型タイプ	○帽体 ○装着体 ○アゴヒモ ○衝撃吸収ライナー
機能	★物体の飛来又は落下による頭部への危険を防止又は軽減。 ★頭部感電による危険を防止又は軽減する為のもの。 ★墜落による危険を防止又は軽減する為のもの。	

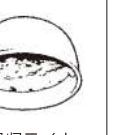
飛来・落下物用	A タイプ	○帽体 ○装着体 ○アゴヒモ
機能	★物体の飛来又は落下による頭部への危険を防止又は軽減する為のもの。	

飛来・落下物用 墜落時保護用	A B タイプ 兼用型タイプ	○帽体 ○装着体 ○アゴヒモ ○衝撃吸収ライナー
機能	★物体の飛来又は落下による頭部への危険を防止又は軽減。 ★墜落による危険を防止又は軽減する為のもの。	

- 保護帽は帽体、装着体、アゴヒモ、衝撃吸収ライナー等の部品によって構成されています。これらの部品全体の総合特性によって安全性能が発揮されます。したがって部品の一部でも性能が低下すれば保護帽全体の安全性能も低下し、危険防止又は軽減ができなくなります。使用する前には必ず保守点検事項、警告事項、注意事項等を確認の上使用してください。

【保護帽の使用前の点検】

保護帽を使用する前にチェックポイントによって点検し、少しでも異常が認められるものは使用しないでください。

①縁に欠け、折れがあるもの	②すりきずが多いもの	③衝撃のあとがあるもの	④変形しているもの	⑤著しい変色があるもの	⑥装着体、アゴヒモに破損、縫い目のほつれがあるもの	⑦汚れが著しいもの
						
⑧取付け部に異常があるもの	⑨メーカーがあけた以外の穴があいているもの	⑩取付け穴に異常があるもの	⑪ガラス繊維が浮き出ているもの	⑫ヘッドバンド、装着体に損傷があるもの	⑬著しいキズ、割れ、変形があるもの	⑭著しく汚れているもの
						
		FRP製	FRP製		衝撃吸収ライナー	衝撃吸収ライナー

⚠ 警告 使用期間について

- ①使用期間が長い保護帽は使用しないでください。特に帽体の材質を確かめ、ポリエチレン、ABS、ポリカーボネート等の熱可塑性樹脂製の保護帽は上記使用前の点検で異常がなくても3年、FRP等の熱硬化性樹脂製の保護帽は5年以内で交換してください。尚、屋外での使用頻度が高い場合、海辺（船上等）で使用される場合等、保護帽にとって厳しい作業環境下では上記期間より短くすることをお薦めします。
- ②装着体は1年位で交換してください。装着体の部品に異常、劣化が認められた場合は直ちに交換してください。尚、装着体ご注文の際は必ず保護帽の品番をご指定ください。
- ③防災用として購入された場合は、購入後6年を目度に交換してください。

⚠ 警告

- ①（労・検）ラベルが貼付されていない保護帽は使用しないでください。
- ②一度でも大きな衝撃を受けたら、外観に異常がなくても使用しないでください。（一度衝撃を受けた保護帽は保護性能が低下し、次に衝撃を受けた場合、頭部を十分に保護することができません。）
- ③アゴヒモは必ず正しく締めて使用してください。（事故時に保護帽が脱げて頭部に重大な傷害を及ぼします。）
- ④保護帽を改造、修繕をしたり、部品を取除いたりしないでください。

⚠ 警告 保管方法

- ①保護帽は専用のラックで保管し、帽体及び装着体に負荷を与えないでください。装着体の破損、帽体の変形等が発生する可能性があります。
※保管には弊社品番No410（ヘルハンガーⅡ）が最適です。
- ②箱等で長期間保管しないでください。やむを得ない場合は、帽体及び装着体に負荷を与えないでください。装着体（特にヘッドバンド）が曲がった状態での保管、詰め過ぎ（過負荷）に充分注意してください。
※装着体の破損、帽体の変形等が発生する可能性があります。

⚠ 注意

- ①ヘッドバンドの調整が悪いと、使用中ぐらついたり脱げやすく、保護性能を十分に発揮することができません。
- ②弊社指定以外の部品、付属品を取付けないでください。（機能が低下したり、性能が損なわれます。）
- ③弊社指定の部品、付属品を取付ける時は、部品、付属品の取扱説明書にしたがって取付けてください。
- ④装着体、アゴヒモが汚れた時は、交換してください。交換する為に組み立てる時は、完全に元どおりに組み立ててください。
- ⑤交換の為に部品を取外した時は、部品類を紛失しないよう注意してください。部品類を紛失した時は、他の部品と交換したり、部品不足のまま使用しないでください。（性能が損なわれます。）
- ⑥炉前、乾燥炉内、投光器のすぐ近く等、高温な場所での長時間作業はしないでください。（材質が変質し、変色や変形を起こし、性能が低下します。）
- ⑦夏季の自動車内や暖房器の近く等、50℃以上の高温になる場所や、直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。（材質が変質、変色や変形を起こし、性能が低下します。）
- ⑧弊社で行った塗装以外は、帽体に塗装を行わないでください。（帽体の材質が侵され、性能が低下します。）
- ⑨保護帽に腰掛けたり、物を入れて運んだりしないでください。（装着体、衝撃吸収ライナー、帽体等を傷付け、性能が低下します。）
- ⑩保護帽を床等に放り投げると、衝撃で帽体を傷め性能が低下するので、保護帽は丁寧に扱ってください。
- ⑪弊社が取扱っている以外のステッカーやラベル等を貼り付けないでください。（薬品、粘着材等によって帽体が侵されたり、耐電圧性能が低下します。）
- ⑫保護帽の汚れは薄めた中性洗剤で拭き、柔らかい布を真水で濡らし、拭き取ってください。（シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤は帽体や部品の性能を劣化させるので絶対に使用しないでください。）